

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年10月09日

計画の名称	備後圏域連携中枢都市圏における広域的な産業物流活性化計画												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	岡山県												
計画の目標	備後圏域連携中枢都市圏は、中国地方全体の経済成長を牽引し、住民が安心して豊かな暮らしを営むことを目的に、平成27年に連携協定を締結し、福山市を連携中枢都市とした6市2町から形成される都市圏である。本都市圏は、広島空港のほか重点港湾の福山港や重要港湾の尾道系崎港等の国際物流拠点を有し、圏域の大部分が備後地区工業特別整備地域にも指定されていたことから、鉄鋼や造船など重工業、繊維業や木工業が成長し、瀬戸内海地域における中核的な工業拠点として発展してきた。それに伴い、農業・工業技術系の試験研究機関を始め、大学研究機関など、幅広い分野における産業支援拠点が確立された。加えて、平成26年度の中国横断自動車道尾道松江線の全線開通により、山陽自動車道や西瀬戸自動車道とつながる高速道路ネットワークが形成されたことや、更に高速道路網を補完する地域高規格道路の整備が、現在、国において進められており、国道2号玉島・笠岡道路及び笠岡バイパスが完成すれば、笠岡東IC(仮称)や笠岡西IC(仮称)の利用により、この地域の経済を牽引する産業拠点へのアクセスが大幅に改善されることから、圏域の経済活動は今後も更なる発展が期待される。これら圏域の強みを活かしながら、年間粗鋼生産量が全国第1位を誇る鉄鋼業や欧米市場から高い評価を受けている繊維事業等、世界有数の工業製品に関する広域的な事業活動を支援するために、広域的な物流結節点と産業集積地及び産業集積地相互のアクセス性を高め物流の効率化に資する基盤整備を推進することで、産業活動の競争力を向上させる。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,620	A	1,620	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H25	H31末	H33末
1	【広島県・岡山県 共通目標】備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額を32,600億円以上とする。 【広島県・岡山県 共通目標】製造品出荷額等 計画最終年次の備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額を現状維持以上とする。(工業統計調査ベース)	32600億円	32600億円	32600億円
2	【岡山県】備後圏域連携中枢都市圏(岡山県内)における製造業従事者数を10,658人以上とする。 【岡山県】製造業従事者数 計画最終年次の備後圏域連携中枢都市圏(岡山県内)における製造業従事者数を現状以上とする。(工業統計調査ベース)	10658人	10658人	10658人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
その他事項については、備考-1に記載。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一)山口押撫線(篠坂 工区)	現道拡幅 L=1,890m	笠岡市						560	-	
	A11-002	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一)山口押撫線(入田 工区)	現道拡幅 L=220m	笠岡市							120	-
	A11-003	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一)園井里庄線	バイパス L=1,000m	笠岡市							650	-
	A11-004	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一)大島中新庄線(1工 区)	バイパス L=250m	笠岡市							80	-
	A11-005	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一)大島中新庄線(2工 区)	バイパス L=400m	笠岡市							80	-
	A11-006	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一)大島中新庄線(3工 区)	現道拡幅 L=290m	笠岡市							40	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-007	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 芳井油木線	現道拡幅 L=130m	井原市						90		-	
	A11-008	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 笠岡美星線(A工区 )	現道拡幅 L=280m	井原市						0		-	
	A11-009	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 笠岡美星線(B工区 )	現道拡幅 L=520m	井原市						0		-	
												小計						1,620		
												合計						1,620		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
整備計画構成自治体・団体 (広島県、岡山県) 岡山県土木部道路建設課で最終評価を実施	令和6年10月
	公表の方法 岡山県ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>A11-001、002、006、007、008及び009の道路整備により、物流結節点と産業集積地の物流効率化が図られ、備後圏域連携中枢都市圏における広島県及び岡山県の製造出荷額（H25）32,600億円から（R5）37,853億円へ5,253億円増加するとともに、同圏における岡山県の製造業従事者数（H25）10,658人から（R5）10,990人へ332人増加するなど、産業活動の競争力の向上が図られたと考えられる。</p> <p>【本事業完成で発現される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A11-001 (一) 山口押撫線 篠坂工区の現道拡幅により、笠岡内陸工業団地から福山港への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。</li> <li>・A11-002 (一) 山口押撫線 入田工区の現道拡幅により、笠岡内陸工業団地から福山港への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。</li> <li>・A11-006 (一) 大島中新庄線 3工区の現道拡幅により、青佐工業地域から茂平工業団地群への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。</li> <li>・A11-007 (一) 芳井油木線 現道拡幅により、芳井鋳業所から福山港への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。</li> <li>・A11-008 (主) 笠岡美星線 A工区の現道拡幅により、賀陽ICから福山港への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。</li> <li>・A11-009 (主) 笠岡美星線 B工区の現道拡幅により、賀陽ICから福山港への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	道路整備の実施により、すれ違い困難な箇所等が解消されたことで、安全性及び走行性が確保され、物流効率化に寄与した。
特記事項（今後の方針等）	
<p>未完了の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。</p> <p>未完了事業） A11-003、004、005</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	備後圏域連携中枢都市圏における広島県・岡山県の製造出荷額	
	最終目標値	32600億円
	最終実績値	37853億円
2	岡山県における製造業従事者数	
	最終目標値	10658人
	最終実績値	10990人